

定時制の灯

第136号
群馬県立館林高校
館林市富士原町
1241
☎0276-72-4307



館林高校定時制

第136号の内容
◆職員紹介
◆入学式等
◆学年交流運動会など

【登校時指導】
今年度も登校時の体調確認と検温を毎日行い、生徒の様子を確認しています。この時間が学年を超えて、様々な先生方と話す機会となっています。

《職員紹介》

年々早くなる桜の開花が今年は新入生の入学を待つかのように、入学式にもまだ咲いていて、新入生だけではなく、この日行われた始業式も含めまるで定時制を祝福してくれているかのようでした。
この春、5名の4年生が卒業し、新たに15名の1年生を迎え入れました。緊張も好奇心も両方の面持ちをしているのが新入生らしいです。そして先生も4名の方が異動・退職され、新たに4名の先生をお迎えしました。装いも新たに、新たな一歩を歩み始めます。今年度も館林高校定時制課程をよろしくお願いします。

【転任者】 委文義之校長（在職2年・退職・再任用で太田女子高校へ）
齋藤和利教頭（在職2年・太田女子高校へ）
冬木喜英先生（在職4年・市立太田高校へ）
三田 学先生（在職9年・退職）

【新任者】 榎崎龍一校長（太田女子高校より）
栗原俊夫教頭（県立太田高校より）
高橋里緒先生（新任）
塩谷明洋先生（太田工業高校より）



【令和8年度 定時制職員】

《入学式・始業式》4月8日(水)

午後4時30分より古茂田同窓会長、高木PTA会長、新入生保護者が見守る中、入学式が視聴覚室で挙行されました。大きな期待と少しの不安を抱えた新入生の顔は最初こわばっていましたが、呼名された時の返事はみな堂々としたものであり、明るい高校生活を予感させるものがありました。そして榎崎校長から入学を許可され、晴れて館林高校の一員となり、その姿を見守る担任の高橋先生も感慨深いものがあつたことでしょう。夕方からは始業式が行われ、新たな学年がスタートしました。



【入学式】
新入生を前に話をする
榎崎校長



【新任者紹介】
1年生担任の高橋先生



【始業式】
珍しく真面目な表情の
田口先生（4年生担任）

《対面式・部活動説明会》4月9日(木)

15名の新入生を歓迎する最初の学校行事、対面式と部活動説明会が生徒会主催で行われました。生徒会役員は進行および開式・閉式の言葉等を務めてくれました。

対面式では生徒会長の金子君からの歓迎の言葉があり、それを受けて新入生代表の挨拶を篠崎君がつとめてくれました。対面式は緊張している生徒も見受けられましたが、一転部活動説明会では先輩方が明るい雰囲気で紹介してくれましたので、和やかな空気に包まれました。新入生はどの部活に入ろうか迷ってしまっていますね。



【司会】



【生徒会長挨拶】



【バレー部の紹介】



【バスケット部の紹介】

《すごくトークキング》 4月27日(月)

学年交流運動会を前に全学年の交流と1年生の歓迎会も兼ねて「すごくトークキング」を開催しました。最初は1年生だけではなく、全員が緊張した雰囲気です。スタートした行事でしたが、先輩を中心に徐々に打ち解け、終わるころには先輩後輩の垣根を越え、時間が経つのも忘れてトークに夢中になっていました。あつという間に学年を越えて仲良くなれるのが、本校定時制の魅力でもあります。



【緊張の中スタート】



【徐々に打ち解け】



【最後はみんな笑顔です】

《こころの教育事業》 5月8日(金)

この日、1年生は「こころの教育事業」を行いました。今では「炎上」という言葉を目にしない日はないほどよく見かけます。その「炎上」の原因はそもそも心の在り方にあるといわれています。入学して一か月。そろそろ学校にも慣れ始め、心に余裕が出てくる時期です。そういう時にこそ心にスキが生まれるのです。今回は本校のスクールカウンセラーでもある須永先生をお招きして、相手との心の距離の取り方を中心に講義していただきました。4年間、みんな仲良く過ごしていきたいと思います。



相手を思いやる！
須永先生の講義が始まる



黒板を使って、内容をしっかり確認していきます。

《令和8年度学年交流運動会》 5月15日(金)

みんなが楽しみにしている学年を超えての交流、「学年交流運動会」を開催しました。最初は『大型トランプ神経衰弱』。最初は面倒そうにやっていた生徒も熱を帯びてきます。チームワークの大切さを学びました。次に『バドミントン』の影響もあり、会場は大盛り上がり。この頃には「すごくトークキング」の影もありません。交流は大盛り上がり。そして最後は『ドッチビー』です。交流と言いつつも、ついつい勝負がドッチビーのような種目です。そして今年は校長先生が全競技参加してくれました！



【神経衰弱】



【バドミントン】



ドッチビーに参加する
校長先生

《第78回 開校記念講演》 5月18日(月)

十八日は七十期卒業生、大川達義さんをお迎えして、第七十八回開校記念講演を行いました。人と比べられることが嫌だった大川さんが本校に入学して、比べられることがないことに感動を覚え、生徒会に入り自信を付けたことが、今の自分を形成している。つまり大川さんの基礎は定時制で作られたという話を聞いていただきました。生徒たちは、先輩の話を自分に置き換えて聞いていました。



8年ぶりの学校を懐かしむ大川達義さん



大川達義さんとの思い出を語る泉先生